

2019年（令和元年）6月20日

報道関係者各位

## 海外の学生が電車の運転を体験 「インバウンドツアー 相模鉄道職業体験会」第2弾を開催

相模鉄道株式会社  
一般社団法人横浜西口エリアマネジメント

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）と（一社）横浜西口エリアマネジメント（所在地・横浜市西区、代表理事・千原広司）では、2019年6月19日（水）に厚木操車場（海老名市）にて「インバウンドツアー 相模鉄道職業体験会」第2弾を開催しました。本ツアーは海外の学生に、日本の鉄道運行の正確さや、実際の電車の運転を通じて相鉄線を知っていただくことを目的に実施したものです。第1弾は6月6日に、相鉄線横浜駅で駅係員の仕事体験を行いました。

第2弾は、厚木操車場で現役運転士の指導の下、事業用車として使用している「モヤ700系」※の運転体験や、「8000系車両」でドアの開閉や車内放送といった車掌体験、実際の制服・制帽を着用した記念撮影会を行いました。

相模鉄道では、都心への相互直通運転や神奈川県での国際的なスポーツイベントの開催をきっかけとした認知度向上を目的に、訪日外国人向けにさまざまな取り組みを行っています。また、（一社）横浜西口エリアマネジメントでも、近年増加している訪日外国人に横浜駅西口周辺の魅力を発信し、実際に西口へ来ていただくことを目的に周辺の企業や関連施設、商店が協力し、日本文化を体感できる体験会を行っていることから、今回相鉄グループが連携して実施したものです。

相鉄グループでは、今後もさまざまな取り組みを通じて、横浜駅西口をはじめとした相鉄線沿線のさらなる認知度向上に繋げてまいります。



相模鉄道担当者による挨拶の様子



指導運転士による運転方法の説明

## 「インバウンドツアー 相模鉄道職業体験会（電車運転体験）」

### 1. 開催日時

2019年6月19日（水） 13:00～16:00

### 2. 場所

厚木操車場（海老名市）

### 3. 内容

片道約220mの運転体験（指導運転士が手を添えて補助）  
電車のドア開閉や車内放送の体験

### 4. 参加人数・国籍

46人（国籍 アメリカ）

※「モヤ700系」とは・・・

2006年8月に登場。7000系電車を改造し、かしわ台駅にある電車基地内の入換や架線観測作業、万が一の事故復旧車両として活躍しています。全4両あり2両1編成で運用しています。



運転体験の様子



車掌体験の様子①



車掌体験の様子②



記念撮影の様子